

震災後初めて
福島県富岡町、楡葉町、広野町、小名浜に行った！
小林喜子

折しも台風に依るフィリピン中部レイテ島高潮被害で死者数、行方不明者合わせて 4823 人になったと新聞報道されている。

そんな折 11 月 11 日（月）ある団体旅行で、線量器を持った現地被災者の案内で、2 年 8 ヶ月後の原発、津波の現状を見て廻った。

そして被災者の方が「どうか東京に帰ったら多数の人々に伝えて欲しい」と切実に訴えられた。

死の街がこの豊かな日本に在るなんて想像すら出来なかった。車窓から見える黒く大きなビニール袋は、中に 10 トン放射能汚染ゴミだとか、それらがあちこち置かれ、現在でも置き場がなく困っている。常磐線富岡駅はかつての改札口のみ、駅名札の下がったホームが無残に残っていた。駅前住宅の座敷には乗用車が乗り上ったまま、時計は 2 時 46 分で止まっていた。

楡葉町では 600 年の歴史を持つ古刹・寶鏡寺（浄土宗）住職早川さんの話を聞く。

住民がみな仮設住宅に移り、今も避難生活を続けて居る。周りの木々は美しく紅葉している。

新しそうな家、趣のある大きな家、みな固く閉ざされていた。震災直後には泥棒が出て、寺でも賽銭箱と、池で飼っていた 1 m もある鯉 9 匹の内、7 匹も盗まれたとか。みんなして「どうやって持って行ったのだろうか？」と話した。

小名浜から塩谷埼灯台までの海岸線に沿って家の土台のみ見渡す限り残っていた。残がいが 3 階建て中学校の校庭に同じ高さまで積み上げられ、今でも処理中だった。

もし自分がこの様な状況下にいたら、と思っただけでも怖く、残り人生どうか無事にと祈るのみ。

私も 3・11 後エディク・スチームシェフ、携帯簡易トイレ、グリコ 5 年持つと言うビスコ缶、一口羊羹、10 円 100 円 500 円が 100 枚ずつ入るケース（500 円は 2 枚のみ）といろいろ非常時持出し袋には入れてあるが、いざと言う時は？果たして・・・気休めかなあ～～

文才があればもっと実状を上手に表現出来るのだが・・・今は自分の幸せな生活を実感すると共に感謝し、気持ちのみのカンパで自分自身を納得させて帰宅した。